

食糧支援 ニュースレター



2009.4.17
Vol.27

TOPICS

- 金融危機の裏で深刻化する食糧危機
- WFPの新メニュー～さまざまな栄養強化食品～
- WFPの環境保全・改善活動
シリーズその②「脆弱度分析と地図化」
- 学校給食プログラム～ナイロビのスラムから～
- 私たちのWFP支援 アシェット婦人画報社
- チャン・ドンゴンさん、WFP飢餓撲滅大使に
- 「ウォーク・ザ・ワールド～地球のハラペコを救え。～」
参加者募集
- 国連WFP協会 2008年度寄付実績報告

金融危機の裏で深刻化する食糧危機



©WFP / Peter Smerdon

食糧価格高騰に次ぐ金融危機で世界の飢餓人口は急増

近年、食糧価格高騰で飢餓人口が急増しています。現在、世界の飢餓人口は10億人近くにまで上っています。世界の全人口のうち、およそ7人に1人が飢えているということになります。

10億人の飢餓人口のうち1億人以上は、主に食糧価格高騰を原因として、この2年間で新たに飢餓層に転落した人々です。

食糧の国際価格はピーク時に比べると下落したため、食糧危機が終わったかの印象を持つ方も多いかもしれません。最近では金融危機がトップニュースとなり、食糧危機が騒がれることもなくなりました。しかし、**金融危機によって食糧危機はますます深刻化しています。**

日本でも金融危機による解雇や給与削減が問題となっていますが、途上国でも同じようなことが起きています。貧しい中でぎりぎりの生活

をしていた人が失職したり収入が減ったりして、食糧難に陥るケースが増えているのです。

典型的な例としては、出稼ぎ労働者の失業が挙げられます。海外に出稼ぎに出ていた途上国出身の労働者の多くが、不景気で仕事を失い、本国へ収入を送金できなくなってしまいました。途上国の中には、国内総生産（GDP）の多くを出稼ぎ労働者からの送金が占める国が多いため、影響は深刻です。例えば、キルギスタンはGDPの20%以上が海外からの送金ですが、仕送りが減ったため本国の家族は収入源を絶たれ、食糧難に陥るケースが増えています。そのため、WFPは去年末、16年ぶりに同国への食糧支援に乗り出しました。

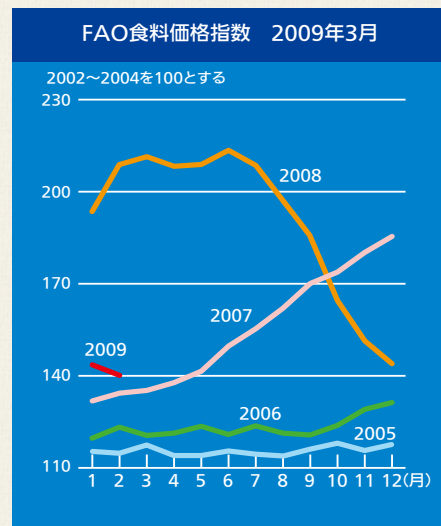
食糧の国際価格はピーク時よりは下がったものの、数年前と比べるとまだ高い水準にあります。（右図参照）また、国際価格の下落は必ずし

も途上国の市場価格に反映されるわけではなく、反映されたとしても「時差」があるため、途上国の人々が購入する食糧の価格は、下がるどころかいまだに上がり続けている所すらあります。

世界の総人口に占める飢餓人口の割合は、1969～71年期には37%でしたが、2000～02年期には17%と大幅に減少し、世界の飢餓状況は改善の傾向にありました。しかしこの2年で状況は一転し、飢餓状況は悪化の一途をたどっています。飢餓が世界を蝕むのをこのまま傍観するか、それとも改善への道を探るのか、世界は極めて重要な分岐点に立っているとWFPでは見えています。

深刻化する食糧危機を受け、WFPは食糧支援の規模を拡大しており、2009年は52億ドルの予算で1億人に食糧を配給する予定です。52億ドルという予算額は、例年の予算と比べると2倍に増えていますが、それでも、アメリカの金融安定化策やEUの景気対策と比べると二桁少ない金額です。そのわずかな資金で、1億人の命と生活を守ることができるのです。

いま、景気対策と共に飢餓対策が求められています。WFPは国連分担金を受け取っておらず、活動資金はすべて、各国政府からの拠出金と、企業・皆様の募金でまかなわれています。飢餓が世界をこれ以上蝕まないよう、どうぞ皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



WFP の新メニュー～さまざまな栄養強化食品～

食事は栄養バランスが大切なのは言うまでもありません。食事のカロリーが足りていても、たんぱく質や脂質、それにビタミンやミネラルが足りないと、病気になりやすくなります。特に、0歳から2歳の乳幼児にとっては、身体と頭脳の発育のために栄養バランスの取れた食事が必須です。そこで、WFPは、子どもたちが発育時に必要な栄養を摂取し、健康な大人になれるよう、最近、栄養強化食品の開発に力を入れています。その一部をご紹介します。

栄養強化ペースト

ピーナッツ、油、砂糖、乳清、大豆由来たんぱく質、ココア等に20種類以上のビタミンやミネラルを混ぜ合わせたペースト状の食品。一袋で500キロカロリー。5歳以下の子ども向け。治験では、栄養失調の子どもに毎日一袋ずつ、2ヶ月間に渡って食べさせたところ、栄養失調状態から回復しました。



ナツメヤシビスケット

ビタミンAと鉄分で栄養強化したナツメヤシのビスケット。調理不要ですぐに食べられるため、学校給食や緊急食糧支援など、幅広く使われています。最近ではパレスチナ自治区・ガザの緊急支援で配給されました。



スプリングル

これは言わば「栄養ふりかけ」のようなもので、調理した食べ物にふりかけると、どんな食べ物も栄養たっぷりになってくれます。味はなく、コーヒーに入れる砂糖のような小袋に入っています。ビタミンAや葉酸など、10種類以上の栄養素を採ることができます。



WFP の環境保全・改善活動 シリーズその② 「脆弱度分析と地図化」

自然災害は飢餓の大きな原因の一つです。その被害を最小限に食い止めるため、WFPは、事前にさまざまな情報整備を行っています。その代表的な例の一つとして、「脆弱度分析と地図化」(Vulnerability Analysis and Mapping=VAM)があげられます。

「脆弱度分析と地図化」とは、飢餓に陥りやすい国や地域を常に把握しておくために、多岐にわたる情報を科学的に分析し、地図化するという作業です。人工衛星によって捉えられた地形をはじめ、人口密度、道路・鉄道・港などインフラの状況、農作業の周期、そして台風や洪水などの過去の被害歴といった情報を地図に落とし込みます。さらに、学校給食の実施分布図やHIV/エイズの地域別の感染率なども盛り込みます。また、常時、活動現場で、食糧難の状況や要因について、個々の家庭のレベルまで踏み込んだ聞き取り調査なども行い、分析の上、地図化しています。

この作業によって、普段から“どこの地域の何人の人々がどんな要因で食糧難に陥りがちか”、“どのような形の支援が一番効果的なのか”、“どうしたら人々が災害に対応する力をつけるための後押しができるか”という多角的な分析をすることができます。また、緊急事態発生に備え何通りものシナリオを想定し、対応策を事前に準備しています。そのため、災害直後の混乱時にも、食糧支援を最優先すべき地域がすぐに判断でき、迅速な緊急支援活動を行うことができるのです。

WFPでは、こうした現場密着の調査活動に、多くの時間と職員、ノウハウを投入しています。

例えば現在、WFP最大の活動が展開されているスーダンでは、南部地域だけでも、数十人のスタッフが数週間かけて、自分たちが寝泊りするテントや自らの食糧を運びつつ、唯一の長距離移動手段である小型旅客機を乗り継ぎながら調査をして回っています。

また、食糧を届けた後も、支援物資が“計画通り届いているか”、“配給により人々の栄養状態は向上したか”などを把握するためのモニタリング調査を実施し、WFPの支援食糧がニーズに基づいて計画通りに配られているかどうか、効果をあげているかどうかをしっかりと確認しています。モニタリング調査を受け入れることができない国や地域には、WFPは支援できない

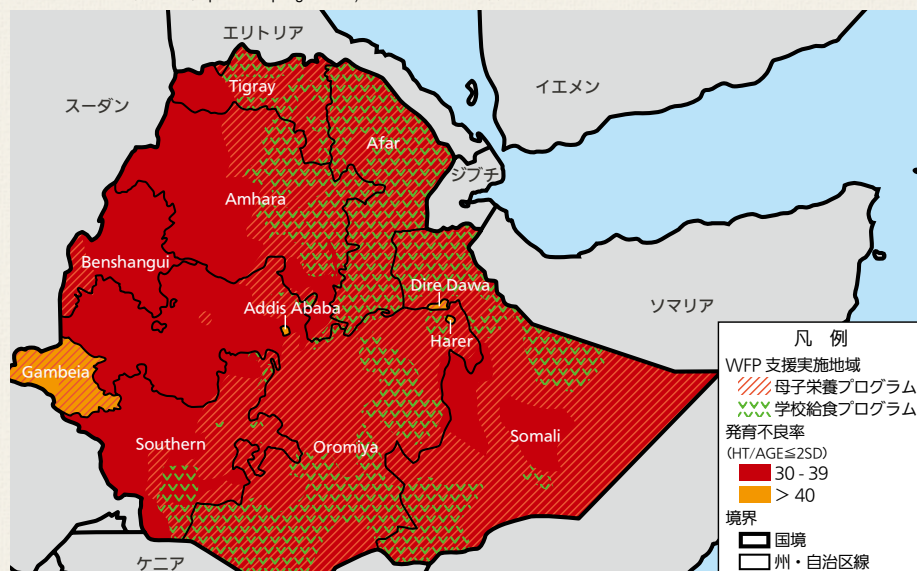
ことになっています。

これらの活動を行うためには、人件費、情報通信費、NGOパートナーのトレーニング費用などがかかります。WFPが信用度の高い支援活動が続いていくうえでの必要な経費です。

みなさまから頂いたご寄付のうち多くの部分は食糧の購入・輸送費として使われますが、一部はこうした**気候変動による被害を最小限に食い止めるための情報整備**に役立てられます。この重要性をご理解いただき、食糧支援のためのご寄付を考えて下さる際に**考えていた額に少し足していただければ幸いです**。皆様のお気持ち、より充実したデータベースを構築し、災害へ備えることにつながります。

飢餓状況とWFPの支援実施地域(エチオピア)

このような地図は専用HP (<http://vam.wfp.org/vamsite/>) からダウンロード可能



学校給食プログラム～ナイロビのスラムから～



WFP 職員 ローナ・リカンガ

ケニアで働く WFP スタッフ、ローナ・リカンガは、ナイロビのスラム街・キベラで学校給食プログラムを担当しています。ナイロビ事務所広報官が彼女にインタビューしました。

(広報官)「初めてナイロビのスラム街を訪れた印象は？」

(リカンガ)「以前、ケニア北部の難民キャンプで働いていましたが、そちらと比べてもスラム街の貧困レベルは非常に高く、とにかく驚きました。聞き取り調査のために家庭を訪問したのですが、三日間食事をとれず

に衰弱し、ずっと眠っている人もいました。そんな時は、話を聞くためにとりあえず食べ物を買って渡すこともありました。」

(広報官)「そんな環境では、子どもたちはかなりお腹を空かせて学校に来るのではないのでしょうか。」

(リカンガ)「以前は朝礼の最中に、空腹にこらえきれずによく子どもたちが倒れていました。でも、学校で WFP の学校給食が始まってから、230 人だった生徒数が 530 人に増えました。子どもは学校に行くと食べ物もらえるので、毎日通学するようになります。また、成績もよくなり、50 点ぐらいしかとれなかった子が 70 点や 80 点を取るようになりました。」

「給食を鞆につめて家に持ち帰る子どもたちもいます。まだ幼くて、学校に通えない兄弟に食べさせるためです。なかにはポケットに入れて帰る子もいます。給食開始当初、WFP は持ち帰りを厳しく禁じており、先生にもそのように指導していました。ところが、『自分はお腹がいっぱいだから、お腹を空かせた妹に食べさせたい』と泣いて訴える子どもたちを前にすると、何も言うことができませんでした。」

(広報官)「学校が休みに入ると、子どもたちはどうなるのでしょうか。」

(リカンガ)「学期が終わりに近付くと、子どもたちは『休み中も食べ物をもらえますか?』

と悲しそうな顔で尋ねてきます。先生の話では、休みの間も空っぽのお皿を持って、学校のまわりをうろうろ歩いている子がいるそうです。奇跡が起こって、給食がもらえるのではないかと願っているようです。個人からの募金などをもとに、休暇中も給食を配給する学校もあるようですが、そうでもない限り、残念ながら休み中は給食が提供できません。」

世界には、学校給食が一日の唯一の食事となる子どもたちがたくさんいます。およそ 5000 円で、一人の子どもが 1 年間学校に通うことができます。世界の子どもたちが少なくとも一日一度の給食が食べられるよう、温かいご支援をよろしくお願い致します。



学校給食が一日の唯一の食事という子ども多い

私たちの WFP 支援 アシェット婦人画報社

主に雑誌、書籍の出版を行い、また女性を対象にデジタルメディア事業を展開するアシェット婦人画報社は、チャリティ・イベントの開催や雑誌の特集を通じて WFP の活動を幅広く支援しています。

1980 年の創刊以来、女性の生き方の指標となるような誌面を展開してきた雑誌「25ans」では、昨年の 6 月と 11 月に「25ans」チャリティ

ガラパーティを開催し、参加費の全額とラッフルチケットの売り上げを WFP に寄付しました。6 月のパーティには、国連 WFP 協会の顧問である俳優の辰巳琢郎さんが出席され、会場の皆様に世界の飢餓状況や WFP の活動について伝えました。11 月には、同じく国連 WFP 協会の顧問を務める女優の竹下景子さんが参加者の皆様にご挨拶し、十河編集長より寄付金の目録

贈呈を受けました。竹下さんの熱いメッセージにより、会場は更に盛り上がりました。なお、同誌では、08 年 12 月号の売り上げの一部も寄付。2008 年の寄付金の合計は、5,349,777 円となりました。

同社はまた、昨年の 10 月には東京国立博物館で開催された「大琳派展」の特別鑑賞会を開催。「美しいキモノ」と「婦人画報」の読者を招待し、参加費の一部を寄付しました。

また、誌面でもたびたび WFP を取り上げています。「25ans」では、09 年 1 月号で WFP 飢餓撲滅大使を務める女優ドリュエ・バリモアさん特集し、バリモアさんの WFP 支援の取り組みを紹介しました。2008 年 2 月号からは学校給食支援公共広告も掲載しています。

ファッション雑誌界を牽引するアシェット婦人画報社ならではの支援により、WFP の食糧支援活動はさまざまな年齢層の読者に伝えられています。



「25ans」による広告 © アシェット婦人画報社

25ansは12月号の売り上げの一部を
WFP 国連世界食糧計画に寄付いたします。

この寄付金はWFPの活動の柱である学校給食プログラムに役立てられます。



World Food
Programme

25ans
ファッション雑誌
ヴァンサンカン

チャン・ドンゴンさん、WFP 飢餓撲滅大使に

昨年12月、韓国人映画俳優チャン・ドンゴンさんが、WFP 飢餓撲滅大使に任命されました。3月6日に横浜で行われた来日イベントでは、自ら、飢餓撲滅大使に任命されたことをファンの皆さんに報告するとともに、世界では6秒に1人の子どもが飢餓で亡くなっていることなど世界の飢餓の現状も説明しました。「皆さんにも飢餓の問題に関心を持ってほしい」と訴えたチャンさんには、ファンの皆さんから大きな拍手があげられました。

イベント会場では、国連 WFP 協会がブースを設置し、写真パネルや募金箱を設置。イベント終了後には、チャンさんの話に共感したファンの皆さんから次々に募金が集まりました。ご協力くださった皆様、どうもありがとうございました。

今後、飢餓撲滅大使としてどのような活動を実際に行うかは調整中です。今後の活動にご注目下さい。



WFP 飢餓撲滅大使に任命されたチャン・ドンゴンさん

「ウォーク・ザ・ワールド〜地球のハラペコを救え。」参加者募集



昨年は大雨の中、大勢の皆さんが参加

子どもたちの飢餓をなくすためのチャリティー・ウォーク「ウォーク・ザ・ワールド〜地球のハラペコを救え。」を6月7日(日)に横浜で開催します。これは、多くの子どもたちを苦しめている飢餓をなくすため、参加者がいっせいに歩くというイベントで、飢餓問題への認識を高めると共に、参加費の一部を募金とすることを目的としています。

集まった募金は、WFP の学校給食プログラムに使用されます。これは、栄養たっぷりの給

食を提供することで子どもたちを学校に呼び寄せ、身体の発育を助けると同時に、教育の機会を拡げることを目的とする取り組みです。近年、食糧価格の高騰や金融危機により、貧困や飢えに苦しむ人が増えています。こうした中、子どもは特に弱い立場に置かれやすく、子どもたちへの支援は今までに重要となっています。

当日は、みなとみらい地区の臨港パークで開会式を行い、ウォーキングをスタートします。

【実施概要】

開催日時：2009年6月7日(日) 受付9:00～、開会式9:30～、スタート10:00～

開催地：横浜みなとみらい地区(会場：臨港パーク)

コース：5kmコース(臨港パーク→赤れんがパークを巡回するコース)

10kmコース(臨港パーク→赤れんがパーク→大さんばし埠頭→山下公園→港の見える丘公園を巡回するコース)

参加費：1,000円(500円募金・参加費・保険を含む。)小学生未満は無料(但し、参加費・保険は無し。)

赤れんが倉庫、山下公園、港の見える丘公園、元町公園といった、風光明媚な横浜ベイエリアのランドマークを回るコースが準備されています。

「ウォーク・ザ・ワールド」は、世界の子どもの飢餓撲滅をめざして、毎年、世界各国で行われているイベントです。昨年は世界70カ国で実施され、25万人以上が参加。日本では2,566人が参加しました。どうぞ奮ってご参加ください。

【申し込み方法】

①インターネットによる申し込み：
<http://www.sportsentry.ne.jp/event.php?tid=17968> (携帯電話可)

②電話による申し込み：
0570-037-846 (通話料は利用者負担)

受付：平日10:00～17:30、

土曜12:00～17:00

※申込：5月22日(金)まで。

定員の3,000人になり次第締め切ります。

申し込みに関するお問い合わせ先：

0120-711-951 受付：平日10:00～17:30

国連 WFP 協会 2008 年度寄付実績報告

2008年度(2008年1月～12月)に国連 WFP 協会に寄せられた個人、企業・団体からのご寄付は、558,537,069円となりました。

そのうち企業・団体からのご寄付は278,806,671円、個人からのご寄付は279,730,398円です。皆様の温かいご支援、誠にありがとうございました。

近年の食糧価格の高騰によって、世界の飢餓人口はおおよそ10億人にまで急増し、そうした

深刻な飢餓状況を皆様にお伝えしたところ、多くの企業・団体・個人の皆様から大変貴重なご支援を頂戴することができました。

なお、皆様からお預かりしたご寄付のうち418,902,802円^注を、インドネシア、エチオピア、カンボジア、ケニア、スーダン、スリランカ、ソマリア、パレスチナ・ガザ地区、フィリピン、ブータン、マラウィ、ミャンマー、レ

ソトで行われているプロジェクトに送金させていただきました。詳細は、ホームページ(http://www.wfp.or.jp/kyokai/ann_report.html)のご寄付の使途レポート(No.4 & No.5)をご確認ください。

注) お預かりしたご寄付の75%は、国連 WFP 協会より WFP ローマ本部に送金され、現地における人道支援活動に活用されています。なお、ご寄付の25%の範囲内で、国内での募金活動、啓発宣伝費、管理費等の事業経費に充当させていただいております。

ご入金/ご寄付のお願い

WFP は食糧支援を通じて「未来」を届けています。WFP の食糧支援活動にぜひご協力ください。

●会員となって国連 WFP 協会の活動を支援してください。

一般会員(個人として活動を支援)・・・年会費一口5千円

学生会員(学生として活動を支援)・・・年会費一口2千円

団体会員(企業や団体などで活動を支援)・・・年会費一口5万円

●ご寄付をお願いします。

WFP の食糧支援活動を一層充実させるため、日本の皆様にご寄付をお願いしています。お預かりしたご寄付は WFP ローマ本部に送金されます。

*会費または寄付(使途指定)を明記の上、下記ゆうちょ銀行口座にお振込みください。

口座番号＝00290-8-37418

加入者名＝国連 WFP 協会

WFP 国連世界食糧計画日本事務所

〒220-0012 横浜市みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜6階
www.wfp.or.jp

国連 WFP 協会

〒220-0012 横浜市みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜6階
TEL. 0120-496-819 月曜～金曜(祝日を除く)9:30～17:30
FAX. 045-221-2534
www.wfp.or.jp